

授業科目	公衆衛生看護活動演習				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保健師		ナンバリング	NU31707J		
開講年次	4	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3			
担当教員	布花原 明子、鹿毛 美香							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>授業では地域アセスメント演習と保健師に必要な技術演習を組み合わせで展開します。地域アセスメント演習では、「公衆衛生看護学実習」の実習施設を対象地域として行います。地域診断の基本技術を用いて地域アセスメントの過程を通し、多種類の情報源を活用し根拠に基づくアセスメントの必要性を理解し、保健活動への意欲及び態度を修得します。</p> <p>また、地域アセスメントから導き出した地域の健康課題を解決するために、家庭訪問、保健指導、健康教育の技術を用いて演習します。住民の健康に対する保健師としての責任感を養い、既習の知識と理論を活用し実践しようとする意欲と態度を修得します。授業では、学生と、行政・企業での保健師経験をもつ実務家教員とが意見交換しながら、保健師の視点を深められるように授業を進めていきます。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習地域を対象として、地域の情報収集、アセスメントを行い、根拠に基づいて健康課題を説明できる(DP2-1、DP4-2)。 2. 保健師として担当地域への責任を自覚し、地域に必要な支援を導き出すために地域アセスメントを行おうと意欲を高めることができる(DP4-2)。 3. 地域を取り巻く社会の変化をとらえ、地域アセスメント演習及び公衆衛生看護技術演習を通して、さらに実習に向けて学ぼうとする姿勢を身につけることができる(DP4-3)。 4. 地域の健康課題を解決するために、個 / 家族を対象とした公衆衛生看護の支援方法を選択し、根拠に基づいて看護実践しようとする姿勢を身につけることができる(DP3-2,DP4-1,DP4-2)。 5. 地域の健康課題を解決するために、特定集団を対象とした公衆衛生看護の支援方法を選択し、根拠に基づいて看護実践しようとする姿勢を身につけることができる(DP3-2,DP4-1,DP4-2)。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	20	0	0	40	40	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20						20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)					10		10	
態度(DP4-1)				10			10	
態度(DP4-2)				30	20		50	
態度 (DP4-3)					10		10	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1.実習地域を対象に情報を適切に収集し、生活、環境、健康の関連を正確にアセスメントし、地域の健康課題を科学的根拠に基づいて推測しわかりやすく説明できる。また、地域診断の意義を具				1.実習地域を対象に情報を収集し、生活、環境、健康の関連をアセスメントし、地域の健康課題を科学的根拠に基づいて推測し説明できる。また、地域診断の意義を説明し、地域に必要な支援を導き出すためにさらに必要な情報を説明できる。				

<p>体的に説明し、地域に必要な支援を導き出すためにさらに必要な情報を具体的に説明できる。</p> <p>2.対象となる個人/家族、特定集団の特性を十分に理解し、健康課題の解決に向けて、予防的視点から情報や知識を活用し、科学的根拠に基づいて個別性に応じた支援内容を具体的に説明できる。</p> <p>3. リーダーシップ、メンバーシップを十分に発揮し、多職種と連携・協働し、対象者の QOL を向上させようとする意欲や姿勢をもった態度を具体的な行動に示すことができる。そして、看護専門職として倫理に基づく行動のあり方を具体的に説明できる。</p>		<p>2.対象となる個人/家族、特定集団の特性を理解し、健康課題の解決に向けて、予防的視点から情報や知識を活用し、科学的根拠に基づいて個別性に応じた支援内容を説明できる。</p> <p>3.リーダーシップ、メンバーシップを発揮し、多職種と連携・協働し、対象者の QOL を向上させようとする意欲や姿勢をもった態度を示すことができる。そして、看護専門職として倫理に基づく行動のあり方を説明できる。</p>		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	<p>テーマ:個 /家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術1:初妊婦の健康相談(布花原・鹿毛)</p> <p>母子健康手帳交付時の個別支援計画について事例を用いてグループ発表と意見交換を行う。また、継続支援の必要性と方法を検討する。</p>	全回を通して実習グループで演習を進める。	授業内容の復習と次回までの準備	180
2	<p>テーマ:個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術2:新生児と家族の支援(布花原・鹿毛)</p> <p>児の成長発達を促し、また家族の健康課題を解決するための支援計画を立案する。計画の中から演習で実施する場面を選択し、具体的な支援内容を計画する。</p>	演習	授業内容の復習と次回までの準備	180
3	<p>テーマ:個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術3:新生児と家族の支援(布花原・鹿毛)</p> <p>支援場面に必要な看護技術と保健指導について、事例の個別性に応じた支援を練習しながら修正する。</p>	演習	授業内容の復習と次回までの準備	180
4	<p>テーマ:個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術4:児と家族の支援(布花原・鹿毛)</p> <p>保健指導場面を設定しロールプレイを実施し、学生間で相互評価を行う。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180
5	<p>テーマ:個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術5:児と家族の支援(布花原・鹿毛)</p> <p>保健指導場面を設定しロールプレイを実施する。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180
6	<p>テーマ:個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術6:児と家族への支援(布花原・鹿毛)</p> <p>実施したロールプレイを振り返り、個応じて応じ、生活の場で行う保健指導について考える。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180
7	<p>テーマ:個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術7:児と家族への支援</p> <p>事例について、今後の継続支援の必要性を判断し、今後の支援の方針及び方法を計画する。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180
8	<p>テーマ:個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術8:健康課題別の支援(布花原・鹿毛)</p> <p>生活習慣病、感染症、障害者の3事例からグループで1事例を選択し、支援方法を選択して計画を立案する。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備 家庭訪問事例のグループ評価及び自己評価	180
9	<p>テーマ:個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術9:健康課題別の支援(布花原・鹿毛)</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180

	<p>事例ごとに計画を発表し、全員でディスカッションを行い、個別性に応じた保健指導に必要な知識や視点について理解を深める。</p> <p>また、これまでにを行った個別事例への支援を通して、担当地域の全対象を意識し、次回から始まる地域アセスメント演習を動機づける。</p>			
10	<p>テーマ:地域アセスメント1:地域概要・人口及び世帯の特性(布花原・鹿毛)</p> <p>実習施設の地域を対象として、事前学習した資料をもとに担当地域の概要と人口及び世帯の特性をアセスメントを深める。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180
11	<p>テーマ:地域アセスメント2:地域概要・人口及び世帯の特性(布花原・鹿毛)</p> <p>人口及び世帯の特性をサブシステム情報(環境要因)と関連させながらアセスメントを進める。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180
12	<p>テーマ:地域アセスメント3:地域概要・人口及び世帯の特性(布花原・鹿毛)</p> <p>人口及び世帯の特性をサブシステム情報(環境要因)と関連させながらアセスメントを進める。</p> <p>実習地域の健康状態を推測し、地域の健康状態を明らかにするための指標を選択しデータを収集する。</p>	演習	授業内容の復習と次回までの準備	180
13	<p>テーマ:地域アセスメント4:生活環境(布花原・鹿毛)</p> <p>実習地域の地理的環境や社会資源に関する情報を収集しマッピングを行う。</p>	演習	授業内容の復習と次回の準備	180
14	<p>テーマ:地域アセスメント5:健康状態(布花原・鹿毛)</p> <p>死亡統計の指標の意味を十分に理解し、地域の健康状態をアセスメントを行う。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180
15	<p>テーマ:地域アセスメント6:健康状態(布花原・鹿毛)</p> <p>死亡統計を用いて地域の健康状態をアセスメントする。さらに死亡に至る重症化の経過を理解し、予防対策を検討するために有用かつ入手可能な指標を選択する。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180
16	<p>テーマ:地域アセスメント7:健康状態(布花原・鹿毛)</p> <p>保健医療・介護等に関するデータを収集し、死亡統計と、死亡に至る前段階の保健医療統計データを関連させてアセスメントを進める。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180
17	<p>テーマ:地域アセスメント8:健康状態(布花原・鹿毛)</p> <p>保健医療に関する指標を選択してデータを収集する。死亡統計と、死亡に至る前段階の保健医療データを関連させてアセスメントを進める。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180
18	<p>テーマ:地域アセスメント9:ライフステージ①母子～高齢期の(布花原・鹿毛)</p> <p>ライフステージの健康状態を捉えるための指標を選定し、グループでデータを収集しアセスメントを行う。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180
19	<p>テーマ:地域アセスメント10ライフステージ②:母子(布花原・鹿毛)</p> <p>ライフステージの健康指標を選定し、グループでデータを収集しアセスメントを行う。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180
20	<p>テーマ:地域アセスメント11:ライフステージ②高齢期(布花原・鹿毛)</p> <p>ライフステージの健康指標を選定し、グループでデータを収集しアセスメントを行う。</p>	演習	予習復習:授業内容と次回の準備	180
21	<p>テーマ:地域アセスメント12:ライフステージ④高齢期(布花原・鹿毛)</p>	演習 OR	予習復習:授業内容と次回の準備	180

	ライフステージの健康指標を選定し、グループでデータを収集しアセスメントを行う。 * 健康課題別の地域アセスメント(精神・感染症・難病)は授業最終日に提出できるよう計画的に進める。 * 実習地域の健康教育に関する情報を提示し OR を行う。			
22	テーマ: 集団を対象とした健康教育1(布花原・鹿毛) 実習施設から提示された対象集団を対象として健康教育の指導案を作成する。これまで実施した地域アセスメントから、健康教育テーマと地域の健康課題との関連を説明し、今回の健康教育の目的・目標を設定する。	演習	予習復習: 授業内容と次回の準備	180
23	テーマ: 集団を対象とした健康教育2(布花原・鹿毛) 健康教育の方法を選択し導入からまとめまでの指導案と目標達成の評価の方法を検討する。	知識確認テスト 演習	予習復習: 授業内容と次回の準備	180
24	テーマ: 集団を対象とした健康教育3(布花原・鹿毛) 指導案をもとに、学生は対象特性に応じて、指定された時間内で実施するための原稿と教材を作成する。	演習	予習復習: 授業内容と次回の準備	180
25	テーマ: 知識確認テスト&健康教育技術演習(布花原・鹿毛) 地域アセスメントに関する思考・判断の確認テストを行う。 健康教育の指導案に基づいて準備を進める。	演習	予習復習: 授業内容と次回の準備	180
26	テーマ: 集団を対象とした健康教育技術4(布花原・鹿毛) 事前のデモンストレーションを行い、助言を生かして教育内容と進行等を修正する。次回の健康教育実施に向けてオリエンテーションの内容を理解する。	演習	予習復習: 授業内容と次回の準備	180
27	テーマ: 集団を対象とした健康教育技術5(布花原・鹿毛) 対象集団の特性に応じた健康教育を実施する。	演習	予習復習: 授業内容と次回の準備	180
28	テーマ: 集団を対象とした健康教育技術6(布花原・鹿毛) 対象集団の特性に応じた健康教育を実施する。	演習 講義	健康教育技術グループ評価 及び自己評価	180
29	テーマ: 集団を対象とした健康教育技術7(布花原・鹿毛) 対象集団の特性に応じた健康教育を実施する。			
30	テーマ: 健康教育技術8(布花原・鹿毛) 実施した健康教育をグループ間で相互評価を行い振り返る。地域の健康課題の解決のための1つの方法として健康教育をとらえる。 対象集団及び場の特性に応じた健康教育について、実習に向けて課題を明らかにする。			
理解に必要な予備知識や技能	<p>地域アセスメントについては、公衆衛生看護関係科目群で履修した知識に加えて、1~3が必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ライフステージの特性と起こりやすい健康問題及び発達段階(小児・母性・成人・老年・精神看護学の知識) 2. 保健医療福祉制度(『保健医療福祉行政と政策』『社会保障概説』の知識) 3. 各種保健医療福祉・介護等の統計データから地域アセスメントに必要な情報を収集するスキル <p>個/家族、特定集団への支援では、事例の健康状態を予防の視点でアセスメントし支援計画を立案できるよう、事例に関連する看護形態機能学、疾病、家族を捉える理論、保健指導の知識などを使えるようになることが大切です。また、公衆衛生看護方法論 I で学んだ公衆衛生看護の方法に用いる理論と保健指導の技術を活用し、科学的根拠に基づいて計画を立案する技能を修得しようとする意欲、態度が求められます。</p>			

テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省:国民衛生の動向(2021/2022), 厚生労働統計協会 ・「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生看護方法論Ⅰ」「公衆衛生看護方法論Ⅱ」「対象別保健指導論Ⅰ」「対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ」「保健統計」「疫学」「保健医療福祉行政と政策」で用いたテキスト及び資料すべてを活用し、必要時に知識を確認しながら進めます。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>地域アセスメントに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・e-Stat 政府統計の総合窓口 https://www.e-stat.go.jp/ ・ふくおかデータウェブ 福岡県統計データ Web http://www.pref.fukuoka.lg.jp/dataweb/ ・厚生労働省HP ・実習施設(自治体)のHP ・保健医療介護に関するデータヘルス(KDB)、がん登録、診療情報データ(DPC)等の情報源 ・都道府県、市町村健康増進計画及び生活実態調査 <p>個別支援、集団支援の演習では、テーマによって参考図書等は異なりますので、指定図書を活用したり、信頼性のある URL からの健康情報を収集してください。</p>
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>公衆衛生看護学実習が開始される前の週まで集中講義で進めますので、かなり過密なスケジュールとなります。(オリエンテーション時に詳細は説明します。)</p> <p>毎回の授業では、当日までにグループで協力して事前準備を行い、授業では教員とディスカッションを行い、効果的に進められるように時間管理を行い授業に臨んでください。</p>
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>「テスト」は地域アセスメントの内容を出題し、個々に思考判断ができるかを評価します。</p> <p>「発表」は個/家族への支援及び特定集団への支援についての発表内容を評価します。</p> <p>「その他の提出物」は、各演習の成果物、提出された資料を評価します。</p> <p>評価の詳細は保健師課程オリエンテーション時及び授業時間内に説明します。</p>

